



『自然物を使った手作り玩具』

今月は、「子どもと一緒におもちゃを作って遊びたい」と考える皆様に手作り玩具のよいところや安全に作るために気をつけるところ、また、自然物を使った手作り玩具のご紹介をします♪

《手作り玩具のいいところ》

手作り玩具はご家庭にある物や身近な自然物で簡単に作ることができます。自然物や日用品で作る楽しさや工夫する事に気付いたり、世界にひとつしかないオリジナルですのでお子さまだけの玩具を作ってあげられたりする点でもメリットです。

「喜んでくれるといいな」とワクワクしながら作っていると思いますが、そうやって楽しんで玩具を作っている姿をお子さまに見せてあげることも大切です。お子さまはそういった姿を真似したがることも多いため、「自分もやりたい!」と一緒に玩具作りをやりたがることもあるでしょう。その場合は、指先の使い方を覚えるよい機会にもなりますので、親子で一緒に作るのもよい方法です。

自分のために心を込めて玩具を作ってくれたというだけでお子さまは愛情を感じるでしょう。親子の関係がよりよいものになるのではないのでしょうか。

＜木の枝でつくるパチンコ＞

～材料～

・Y型の木の枝※公共の木は切らず、落ちていた枝で探してみましよう

・輪ゴム
 ・まつぼっくりまたは丸めた新聞紙とセロハンテープ

～使う物～

・剪定ばさみ
 ・小刀またはカッターナイフ

～作り方～

- ①Y字になった枝を見つけて
- ②余分な枝は剪定ばさみでカットしてきれいなY字にしましょう
- ③Y字の先端2か所に（Y字の先端3cmくらいのところ外側）に小刀等で切れ込みをつけます

※刃物は大人が使用し怪我等には十分気を付けましよう

- ④切れ込みに輪ゴムをひっかけて完成です

～遊び方～

・玉は、まつぼっくりや新聞紙を丸めてセロハンテープで固めたある程度軽量なものを使うと小さい子にも飛ばしやすく、怪我も気にせず遊べます
 ・輪ゴムに玉をひっかけて上手く飛ばせるかな？



＜どんぐりやじろべえ＞

～材料～

・どんぐり
 ・竹ひご

～使う物～

・きり

～作り方～

- ①どんぐり3個、竹ひご3本(長2・短1)用意します
- ②両端にするどんぐりには、横に1か所真ん中にするどんぐりは左右に2か所と下にする部分にきりで穴を開けます
- ③それぞれの穴に竹ひごをさしたら出来上がりです

～遊び方～

真ん中のどんぐりに刺した竹ひごを人差し指の腹にバランスをとって乗せてみましょう



ポイント!

遊ぶときは、人がいないところに飛ばすように声を掛けてあげてください。ペットボトルの的を作ってもいいですね。

次回は、『秋の遊び』についてです。

《まだまだ注意したいポイント!!》

お子さまの事故の半数を占めているのは誤飲だといえます。お子さまが玩具の部品を飲み込んでしまう事故です。目安としては、大人が親指と人差し指で丸い輪の形を作ったとき、その中を玩具や部品が通るかどうかを見てみましょう。通る場合はお子さまがそれらを喉に詰まらせてしまう危険性が高いので、玩具を手作りするときは自分の指で大きさの確認をしながら作りましよう。

材料や、道具の片づけにも気を遣っていきましょう。後でまとめて片づけるよりも、その都度片づけることを心がけるとよいでしょう。

＜この時期に読みたいオススメの絵本＞

絵本名：だいくのたこ8さん

作：内田 麟太郎

絵：田中 六大

出版社：くもん出版



こんな大工さんがいたらいいな。自慢の大工の腕で、おかしな住人のお悩み解決!次々とおもしろハウスを建てていきます。子どもたちの職業の夢を広げるおもしろおしごと絵本です。